区報ふじみのこども新聞 オリンピック・パラリンピック
平成30年3月31日

なるほど!! ウマのあれこれ

馬の種類

- 重種（じゅうしゅ）…体が大きく、馬車をひく力もち。体重が800kg～1000kgもある。
- 軽種…競走馬で体重は400kg～500kgある。
- 中間種（ちゅうかんしゅ）…重種と軽種の間で馬術によく出る。
- ポニー…147cm以下の馬がポニーになる。20kgの馬もいる。

普通は100kg～150kg。

（乗馬の感想）いつもの高さより高い所から景色が見え、馬の足音がよく聞こえ、よくゆれた。

（小6／K・A記者）

馬のからだ

つめは、1ヶ月1cmのびます。目は横についており真後ろ以外の350度見えます。体おんは37・5～38℃です。茶は鹿毛（かげ）、白はあし毛といいます。えさは、えん麦、アマニ油、ヘイキューブであります。（小5／Y・A記者）

うま（小4／R・H記者撮影）

馬のしんぞうをさがす（小4／R・H記者撮影）

馬に歯を見せてもらう（小4／S・K記者撮影）

ひづめに蹄鉄（ていてつ）というクツのようなものをつけます。また、つめがかわかず、われないようにするために、油をぬります。ウマの歯は前に12本、4つの犬歯と奥歯24本で計40本（メスはマイナス4本）です。ウマの視野は350度です。夜も目ではっきりと見れるそうです。心ぞうを打つのは1分に40～50と言っていました。心ぞうの場所は、左の首のねもとで足のつけねにあり、人の頭ぐらいの大きさです。（小4／S・K記者）

こども記者たちにけいかいしてる？（小4／S・K記者撮影）

ウマは気持ちをどうやってあらわすの？

ウマが耳をたててものをじっとみつめているときは、見慣れないものやにおいがするときにけいかいしている事をあらわしています。耳をうしろにふせているときは、攻撃的なときです。ほっとした表情になるまで近づいてはだめです。攻撃されると、小さいポニーなどでも、大人でもかないません。ウマは言葉を話すことはできませんが、耳をうしろにふせたりなどして、こわい気持ちをあらわしていたりするのです。

（小5／M・O記者）

馬にはいろんな性格や特ちょうがあります。馬は耳がくるくる回ります。その中でも、後ろにむいている時はきげんが悪い時です。また、鼻をピクピクさせる時がありますが、それは不安な時にするそうです。馬はおくびょうですが、くちぶえをふいたりヨーシヨーシと言うと安心するそうです。

（小5／R・N記者）

えさをあげました

ポニーににんじんをあげました。あげるときに、どんどん下に下にさげていくとかまれるよ、かまれるとゆびのほねがおれるよと言われ、口にバンと手をあててやったほうがいいと言われました。ラッキーとあおばというポニーが2とういて、みんなでにんじんをあげました。楽しい1日でした！

（小4／M・N記者）

馬のえさ（小4／K・A記者撮影）

馬の部屋

馬には1頭1頭に1つ部屋があって、その部屋は人がだいたい20人入れるぐらいの大きさで、床にはわらがしいてあって、馬がねてもいたくないようになっています。かべにはこうしがあって、1人でいるかんじになってさびしくならないようになっています。（小4／K・A記者）

『タグラグビー』を体験取材しました！

親子タグラグビー教室

2月4日、小石川運動場で「親子タグラグビー教室」をした。

ラグビーワールドカップは、サッカーといっしょで4年に1度。前は2015年で、次は2019年にある。会場は、あじのもとスタジアムや、決勝は横浜にあるにっさんのスタジアムでやる。ラグビーは15人対15人で、合計30人の中でやる一番人数の多い団体競ぎだといわれています。（小4／R・M記者）

きん肉もすごかった

NECにはラグビーチームのほかに女子バレーボールやプロきしがしょぞくしているしょうぎチームがあって、NECのラグビーチームの練習場は千葉県我孫子（あびこ）市にあります。またNECのスポーツチームは練習の時い外は社員として働いています。だけど選手の中には日本代表になっている選手もいてきん肉もすごかったです。（小4／H・A記者）

メモをとりながら選手を取材

NECのラグビーチーム「グリーンロケッツ」によるタグラグビー教室のきかくを計画・実行した、荒本隆善（あらもとたかよし）さんに取材をしました。

Q.なぜ子供達にタグラグビーをおしえようと思ったのですか。

A.NECは、コンピュータなどのサービスを行う会社なので、NECを知ってもらうため。二つ目は、あまり知られていないタグラグビーを子供達に知ってもらうため。

——だそうです。NECは、守ることが得意なので、そこを発展させて、来年のワールドカップに役立てます、と語っていました。

（小4／K・S記者）

ラグビーの見かた

ラグビーは簡単に言うと「陣地（じんち）取り」のようだと荒本さんはおっしゃいます。ラグビーのルールは複雑（ふくざつ）なので、注目する選手を1人決めて試合を見ると、ラグビーを初めて見る人でも楽しむことができるそうです。

（高3／K・H編集サポーター）

取材のつもりが練習に…　（高3／K・H編集サポーター撮影）

岡村（おかむら）選手から基本を学びました

岡村要（おかむらかなめ）選手に、おなかに力をいれる体幹（たいかん）、ラグビーキャッチなどのラグビーに必要なき本を教えていただきました。記者の全員が楽しかったといっていました。

（小4／M・O記者）